

第 18 課

ヨハネの福音書 第18章

この課であなたが学ぶことは……

イエスの逮捕

イエスとアンナス

イエスを否定するペテロ

大祭司に尋問されるイエス

イエスを再度否定するペテロ

イエスとピラト

死刑に定められたイエス

イエスの逮捕

ヨハネの福音書18：1～11を読んで下さい。

ユダは、イエスを逮捕する兵士たちの道案内をしました。なぜ弟子であった彼がこのような裏切り行為をしたのでしょうか。人の心がイエスから離れると、サタンがその人を支配してしまうのです。

4節と6節を読んで下さい。イエスが「それはわたしです」と言



われたとき、兵士たちは地に倒れてしまいました。イエスご自身が逮捕されることを赦されなにかぎり、彼らはイエスを捕まえることまでできませんでした。私たちの罪のために死ぬことが神のみこころであることを知っておられたイエスは、そこから逃げることはされませんでした。

イエスは自分を捕えに来た者たちに、弟子たちを去らせられるよう願われたのです。イエスは最後のこの時にいたっても、ご自分に走って来た人々を配慮されたのです。

ペテロには戦う用意ができており、剣を取って大祭司のしもべの耳を切り落としてしまいました。ルカは、イエスがこの時、男の耳をいやされたと記しています。いやされたのでペテロは兵士たちから罰を受けなかったのかもしれませんが。



自習のために

- 1 ゲッセマネの園でユダに裏切られたことから何を学びますか。
 - 1) 園で祈らない方がよい。

- 2) 私たちがキリストから離れてしまうと、サタンに支配されてしまう。
 - 3) 兵士たちは祈りの場に来るべきではない。
- 2** なぜイエスはご自分を守るために逃げられなかったのでしょうか。
- 1) 死ぬべき時の来ていることを悟っていたから。
 - 2) 弟子たちが自分を守ってくれると思っていたから。
 - 3) 兵士たちに向かう力を持っていなかったから。
- 3** ペテロは園で何をしましたか。
- 1) 一晩中祈っていた。
 - 2) 天から火を呼び寄せた。
 - 3) 大祭司のしもべの耳を切り落とした。

イエスとアンナス

ヨハネの福音書18：12～14を読んで下さい。

アンナスと義理の息子カヤパは、大祭司の職務を違った時期に務めました。彼らはイエスを殺そうと図っていたのです。イエスを危険な革命家として人々に訴えていました。もしイエスを殺さなければローマ政府は、イスラエルを滅ぼすことを命じるであろうということです。もちろん事実ではありませんが、当時の宗教家たちは何とかしてイエスを抹殺しようとしていたのです。

カヤパが、かつて一人の男が死ぬことは、民全体が減びることよ

りもよいと言ったことがありましたが、それがイエスの死についての重大な真理を語っていることには気がついていませんでした。私たちの罪の身代りとなるための犠牲となって下さったのです。

あなたは、なぜイエスは死なないで私たちを救うことができなかったのかと考えられるかもしれません。それは、神は聖なる方で、すべての汚れ、罪悪を憎んでおられます。そのために罪を犯した者は全て神から遠ざかり滅ぼされてしまわなければならなかったのです。

神は罪を赦されるためには、血による贖いを求めることによって、罪に対する恐れを人間に教えられたのです。そのために旧約の時代では、羊、山羊、牛などが人間の罪の身代りの犠牲となって献げられていました。

それで、律法によれば、すべてのものは血によってきよめられる、と言ってよいでしょう。また、血を注ぎ出すことがなければ、罪の赦しはないのです。 ヘブル9：22

動物の血では完全に罪を取り除くことができなかったので、毎年犠牲の血を献げなければなりませんでした。動物の血による犠牲は、神の御子が献げられるまでの一時的な方法にすぎませんでした。イエスがご自分の血を、私たちの救いのために献げて下さる以外にはなかったのです。もし他の方法があったとしたら、神は御子を死に渡すようなことはなさらなかったでしょう。



自習のために

- 4 なぜイエスは、私たちの罪のために死ぬ必要があったのですか。
- 1) 御子の血が流されることによって、私たちの罪が完全に赦されるから。
 - 2) 私たちより先に死なれることによって、私たちが死の恐怖をまぬがれるから。
 - 3) 罪の赦しの犠牲が何度も必要なことを教えるため。

イエスを否定するペテロ

ヨハネの福音書18：15～18を読んで下さい。

ここで記されている「もうひとりの弟子」とは、本書を書いたヨハネのことです。ヨハネは自分はイエスの弟子であることを隠していませんでしたので人々の疑惑を受けませんでした。ペテロは、かつてはイエスのために死をも覚悟していると豪語していたにもかかわらず、イエスが捕えられるや弟子であることを否定してしまいました。

他のクリスチャンといっしょにいる時には、自分もクリスチャンであることをいうのはやさしいのです。しかし、あなたを囲む人々が、イエスの敵であるとき、はっきりと証しをすることは容易ではありません。あなたはどうでしょうか。

わたしを人の前で認める者はみな、わたしも、天におられるわたしの父の前でその人を認めます。しかし、人の前でわたしを知らないと言うような者なら、わたしも天におられるわたしの父の前でそんな者は知らないと言います。

マタイ10：23、24



自習のために

- 5 あなたは人の前で、自分がクリスチャンであることがむずかしいですか。 _____
 周囲の人々が迫害すると思いますか。 _____

神があなたに勇気を与えて下さるよう祈って下さい。

大祭司に尋問されるイエス

ヨハネの福音書18：19～24を読んで下さい。

アンナスは以前に大祭司の職務についていましたので、ここでは大祭司と記されていますが、その年はカヤパが大祭司でした。アンナスは、イエスを裁くときの証拠にするために、イエスの言葉じりをとらえようと尋問しましたが、イエスは何も答えられませんでした。

その後、兵士たちはイエスをカヤパの所に連れて行きました。そこでサンヘドリンと呼ばれる宗教最高裁判所によってイエスを裁くのです。裁判は非合法な方法で行なわれました。なぜならイエスが

捕えられた直後に、夜間、秘密会議が開かれ、イエスを殺すことに決められていたのです。イエスを弁護する証人の立つ機会もなく、ただ総監ピラトに正式な告訴状を提出するための単なる形式にすぎなかったのです。



自習のために

6 なぜアンナスは尋問しましたか。

- 1) イエスの教えを学ぶため。
- 2) イエスについてくわしく知るため。
- 3) イエスの言葉じりをとらえてわなにかけるため。

イエスを再度否定するペテロ

ヨハネの福音書18：25～27を読んで下さい。

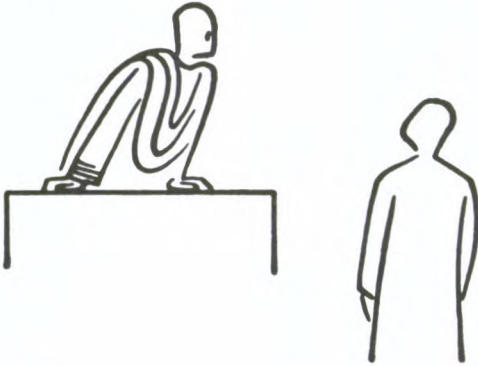
ペテロは三度、イエスの弟子ではないかと聞かれたのに対して、三度とも否定してしまいました。そして三度目に否定したとき、イエスに前もって言われていたように、にわとりが鳴いたのです。ペテロは自分が主を裏切ったことを恥じ、外に出て後悔の涙を流しました。





自習のために

- 7 ペテロは大祭司の庭で何をしましたか。
- 1) 大祭司のしもべの耳を切り落とした。
 - 2) 主を三度、否定した。



イエスとピラト

ヨハネの福音書18：28～38を読んで下さい。

宗教最高裁判所は、死刑の宣告をする権限をもっていませんでしたので、ローマの総督であったピラトのもとにイエスを送りました。宗教家たちは、イエスが自分の王国を建ててローマ政府に反逆しようとしていると訴え、イエスを死刑にするよう要求していました。このような偽証に対しても、イエスは弁解しようとはされませんでした。イエスはピラトの質問に、自分の王国はこの世のものではないと言われたのです。それは彼を受け入れる者の心の中にある霊的

王国のことなのです。



自習のために

- 8 イエスはピラトに、あなたは王であるかと問われたとき何と答えられましたか。
- 1) いいえ、私は間違っって訴えられています。
 - 2) 私の王国は、この世のものではありません。
 - 3) 私の王国は、ローマ政府よりも強大なものです。
- 9 イエスをあなたの人生の王として受け入れましたか。

死刑に定められたイエス

ヨハネの福音書18：38～40を読んで下さい。

ピラトが、どのような質問をしても、イエスの死刑に価する罪状を見つけることはできませんでした。彼は人々にこのことを訴えましたが、群衆は、イエスを十字架につけよと叫んでやみませんでした。そこでピラトは慣例にしたがって、強盗のバラバを赦すか、イエスを釈放するかを人々の選択にまかせました。群衆はバラバを釈放することを選びました。今日でも多く人が罪の生活を選択しているのです。あなたはイエスについてどのような選択をしますか。



自習のために

- 10 ピラトの判断はどうでしたか。
- 1) イエスは有罪で死刑に価する。
 - 2) イエスは無罪である。
 - 3) バラバと共に、イエスを牢に入れる。



正 解

- 6 3) イエスの言葉じりをとらえてわなにかけるため。
- 1 2) 私たちがキリストから離れると、サタンに支配されてしまう。
- 7 2) 主を三度、否定した。
- 2 1) 死ぬべきときの来たことを悟っていたから。
- 8 2) 私の王国はこの世のものではありません。
- 3 3) 大祭司のしもべの耳を切り落とした。
- 10 2) イエスは無罪である。
- 4 1) 御子の血が流されることによって、私の罪が完全に赦されるから。